

【事務事業調査】

事務事業名	町女性団体連絡協議会補助			予算科目 コード	会計-款-項-目-事業 001-10-04-01-002-02-01-0
担当部課	教育部 生涯学習課	担当 係長	文化・公民館係 鈴木 陸夫	事業の分類	既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	<p>H23 事後評価 ○女性団体連絡協議会の円滑な運営のため、財政的な支援を行いました。○会構成は食改推進団連合会、更生保護女性会、母子寡婦福祉会、消費者友の会、JA女性会、商工会女性部、婦人防火クラブ、安全協会女性部の女性団体8団体で組織されている。○活動は、会員研修会や全住民を対象とした「みんなのつどい」を実施しました。</p> <p>H25 事前評価 ○女性団体連絡協議会の円滑な運営のため、財政的な支援を行うものです。○食改推進団連合会、更生保護女性会、母子寡婦福祉会、消費者友の会、JA女性会、商工会女性部、婦人防火クラブ、安全協会女性部の女性団体8団体で組織されている。○活動は、会員研修会や全住民を対象とした「みんなのつどい」を実施します。</p>	○男女共同参画についての研究を行っている数少ない女性だけで構成されている団体で、女性の社会参加と男女共同参画社会に向けた推進と活動が図られます。
実績		

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
みんなのつどい開催回数	1回		○みんなのつどい開催 ○女性団体連絡協議会研修会開催

■事業費(計画)

【単位:千円】

番号	細 節	金 額	積 算 根 拠
1	補助金	100	過年度実績勘案100千円減
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
		100	

■事業費(実績)

【単位:千円】

番号	細 節	金 額	特 記 事 項
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
		0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【千円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	100		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	100		

■補助金等名:町女性団体連絡協議会補助金

■補助事業者等:町女性団体連絡協議会

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというにあてはまる:3点
- (4)どちらかというにあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント	
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	4	女性団体8団体、全構成員約300人の連絡協議会です。女団連の最大の最大の行事である「みんなのつどい」では、男女協同参画関連についての講演会等家庭生活に密着した内容となっている。なお、福祉部門と連携し横断的な施策に配慮している。
		■町全体に波及効果が期待できる。		
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	3	男女協同参画について、前向きに取り組んでいる。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	3	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	5	既存団体の活動は阻害しない。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	3	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	3	補助要綱のとおり。実績報告書には領収書の写しを添付。
		■予算の見積が適正である。	3	
5	適格性	■実施体制が明確である。	4	比較的自主・自立の傾向がある。団体の会計、研修会等も役員で行っている。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	4	
合計点数		35		
総合評価		継続		